

平成 29 年度第 1 回置賜地域保健医療協議会病床機能調整ワーキング概要

1 報告：平成 28 年度病床機能報告について

- ・ 事務局より、置賜地域の各医療機関における病床機能報告の内容について説明

2 協議

(1) 管内病院の新公立病院改革プランについて

- ・ 米沢市立病院、公立高畠病院、小国町立病院、白鷹町立病院より、各病院が策定した新公立病院改革プランに基づき、地域医療構想を踏まえた各病院の医療機能上の役割、直近の経営状況等について説明

(主な説明内容)

- ・ 人口減少に伴う患者の減少により、経営状況は非常に苦しい
- ・ 医師不足により、休日夜間の救急医療体制の維持が大変厳しい
- ・ 病院機能の維持のためには、マンパワーの効率化が不可欠だが、非常に難しい問題
- ・ 病床数の削減については、住民の不安もあり、具体化に際しては住民の理解が必要

(2) 置賜地域における各病院の医療提供体制の見直し等に係る検討状況について

(主な意見)

- ・ 米沢市内の急性期病院において、医療機能再編に向けた「医療連携あり方検討委員会」を設置しており、9月に4回目を開催。一方の病院に急性期医療を集約し、もう一方の病院が回復期を担う方向。併せて地域医療連携推進法人に向けた検討も進めていく。
- ・ 既に病床の休床を進めており、また、経営改善に向け入院期間を短くする取組みを進めている。
- ・ 建物の老朽化に伴い、改築を検討している。
- ・ 病棟の改築が終了。訪問診療や訪問看護の機能を充実させ、在宅医療の推進を図る。
- ・ 病棟の改築計画を進めており、平成31年度の開院を目指している。
- ・ 専門職が自治体病院に流れ、民間病院は人員確保に苦慮している。
- ・ 地域包括ケア病棟は、置賜地域は県内では多い方だが、全国的にはまだまだ少ない。
- ・ 患者数が横這いの病院もこれから減っていく。空いた病床をどのように活用していくかといった観点の検討も必要。
- ・ 病床機能調整は、全体をどうするのかといった観点からの整理が必要で、個々の病院の事情を考慮するのはその後にするべきではないか。

○事務局から

- ・ 病床機能調整ワーキングについては、管内病院の動向を見ながら、必要な時期に開催していく。